



雨天対応が施された沼津駅前広場

**半年に1日出勤で 勤奨手当を20%?**

渡辺大三(みどり・市民)  
 ①「半年に1日出勤」の職員に「勤奨手当(ボーナス)の20%支給」をするのは改めるべきである。市民から見ると納得できず、早急に直していかねばならない。そのような設定をしたために、各段階において「ゆがみ」が生じている。例えば、90%のはずの職員が95

80%は90%、71%は85%、66%は80%、51%は70%、42%は60%、32%は50%、23%は40%も勤奨手当をもらえない計算になる。府中市においては、1日出勤では0・96%である。12月のボーナス支給までに見直すべきである。



総務部長 現在、調査研究をしている。見直す方向で考えている。12月の支給も視野に入れている。

市長 再三指摘をいただいているが、民意とかい離れた制度は改めるべきだと考えている。

このほか、再開発の影響を受けた周辺商店街(北口も含む)の調査を行い、厚い対策を講じるよう求めました。また、沼津駅前広場の視察を踏まえ、充実した緑化、雨天の際のバス・タクシー待ちの皆様の配慮など、総合的に提案しました。

中根三枝(自民党小金井)  
 私は小金井市の地域が成熟したボランティア社会であつてほしいと願っており、助け合いが当たり前で潤いのある社会となることを望んでいる。ボランティアの質問を最初にしたのが平成元年だった。(ア)現状は、(イ)第二小学校家庭芝生維持管理はどういう人た

ちがどうやっているか。(ウ)活動しやすい環境づくりは行政の分野だと思いが配慮は。

市民部長 (ア)市が所管しているだけでも環境、福祉、教育、芸術文化等で幅広く、市民ボランティアについては社会協力の事業として小金井ボランティア市民活動センターが中心となっている。運営委員会



にはコミュニティ文化課長、地域福祉課長、生涯学習課長が委員として参加している。(ウ)市が関わるボランティアは保険に加入して万一に備え、安心して活動に従事できる環境づくりをしている。

庶務課長 (イ)PTA役員、有志保護者、休日校庭利用のスポーツ団体、町会の方が芝刈りや補植をし、専門的な分野は委託業者に依頼している。その他に夏休み中児童のラジオ体操実施状況と生徒や市民への働きかけを訴えた。

学校教育部長 (ア)旅費負担もあるが総合的判断で学校長が決定をする。

教育長 (イ)語り部の方々が少なくなり広島修学旅行も減ってきた。平和教育の充実を要望した。

中山克己(自由民主)  
 市民の方々より進捗状況も含めて多くの問い合わせがある。(ア)二枚橋を前提とした市民検討委員会答申を尊重すべきでは？(イ)新施設建設の早期実現は党派を超えた市議会全体が一致団結して協力する必要があるが？(ウ)こみの広域支援処理は、新施設を稼働させ

ない限り根本的に解決しない。二枚橋衛生組合の解散、また別の課題として衛生組合解散後の跡地利用等、市民のこみ行政に影響が出ないよう配慮願う。

ごみ処理施設担当部長 (ア)答申は市としても重く受け止めており、市政の最重要課題との認識で全庁一丸で取り組

んでおり、実現に向けて二枚橋衛生組合の構成市のご理解を頂けるよう努力を続ける。(イ)新施設建設には賛否両論あり建設場所の決定は多くの課題を乗り越える必要がある。事業の失敗は許されず市議会にも今後様々な協力を頂きながら早期建設を目指す。

市長 (ウ)市民の排出するごみは市が処理する義務を持つており、二枚橋を閉鎖した今、広域支援、人道支援、緊急支援に頼っており、庁内挙げて新施設建設に全力を注ぐ。

新ごみ処理施設建設の課題について問う



学校教育部長 (ア)他市を参考に表現を工夫する。(イ)認定基準を幅広くしている。指導室長 (ウ)学校に働きかけた。

③子どもの権利が保障されるまちにするため、(ア)子どもの権利に関する条例の推進状況と今後の計画。(イ)他市を参考にパブリックコメントの解説をもとに手引を作るべき。(ウ)パンフレット作成状況。

子ども家庭部長 (ア)のびゆく子どもプラン市民会議で議論。(イ)庁内会議で検討中。

片山 薫(みどり・市民)  
 ①経済状況が悪化している現在、市内に失業者が増えている。支援のためにも緊急雇用予算について他市区を参考にしつつ丁寧な広報を。また就労意欲が湧く仕事を作ってほしい。(ア)緊急雇用予算の各課での実施状況。(イ)市民の求職者への情報提供。(ウ)今後の

支援策は。市民部長 (ア)6月補正事業は実施中が10月までに実施。(イ)こがねい仕事ネット、東京しごとセンター多摩、八口ワークと連携充実活用する。

②子どもの貧困連鎖を食い止め(ア)就学援助の広報。(イ)就学援助の対象者や事項の拡充(ウ)公費負担の教材費拡充を。

失業者支援と子どもの貧困対策は？



学校教育部長 (ア)他市を参考に表現を工夫する。(イ)認定基準を幅広くしている。指導室長 (ウ)学校に働きかけた。

③子どもの権利が保障されるまちにするため、(ア)子どもの権利に関する条例の推進状況と今後の計画。(イ)他市を参考にパブリックコメントの解説をもとに手引を作るべき。(ウ)パンフレット作成状況。

子ども家庭部長 (ア)のびゆく子どもプラン市民会議で議論。(イ)庁内会議で検討中。



耐震化を求められている市役所本庁舎

板倉真也(日本共産党)  
 ①(ア)耐震診断・耐震補強工事を促進させるためにも、公共施設整備計画とは切り離して、早急に耐震改修に踏み出すべき。(イ)建築年度の古い建物や高齢者・子どもたちが利用する建物を最優先に、耐震補強に着手すべき。(ウ)2015年度までに防災上重要な公

共建築物や不特定多数の者が利用する公共建築物の耐震化率100%を確実にやりきるべき。企画財政部長 (ア)切り離しての執行が可能な事業については、遅滞なく対応していく。(イ)高齢者が多く利用する福祉会館等について、可能な限り早い時期に一定の方向性を示していく必要がある。(ウ)でき

市公共建築物の耐震補強工事の促進を



することから順に耐震化に向けた計画的な予算化、施設の整備に努めていく。

②介護保険法施行法第11条の「介護保険適用除外施設」入所にかかわらず、重度障がい者の場合には、市の独自制度で介護保険料の減免を。福祉保健部長 法律で決められている「適用除外とする施設」以外の方については、介護保険料は納めていただく。市独自では、収入激変における減免のところで考えさせていただく必要がある。

小金井にも常設のプレイパークを作らないか



田頭祐子(みどり・市民)  
 ①子どもたちは小さなながらも失敗を乗り越えて成長していく。そのためには、自然の中で自由に遊べる空間と仲間と時間が必要である。(ア)このような冒険遊び場の必要性をどう考えるか。(イ)市民活力を活かして、常設のプレイパークを設置しないか。(ウ)その検

討はいつからか。市長 (ア)まちの中で群れて遊ぶ姿も見えにくくなった。市内でプレイパークにできる場所があるか等研究する。(ウ)まずプレイパークを見てからになる。

子ども家庭部長 (ウ)他市の状況をみて研究する。のびゆく子どもプランの計画に合わせ



ツリーハウスネット

ボランティアに光を!

中根三枝(自民党小金井)  
 私は小金井市の地域が成熟したボランティア社会であつてほしいと願っており、助け合いが当たり前で潤いのある社会となることを望んでいる。ボランティアの質問を最初にしたのが平成元年だった。(ア)現状は、(イ)第二小学校家庭芝生維持管理はどういう人た

ちがどうやっているか。(ウ)活動しやすい環境づくりは行政の分野だと思いが配慮は。

市民部長 (ア)市が所管しているだけでも環境、福祉、教育、芸術文化等で幅広く、市民ボランティアについては社会協力の事業として小金井ボランティア市民活動センターが中心となっている。運営委員会